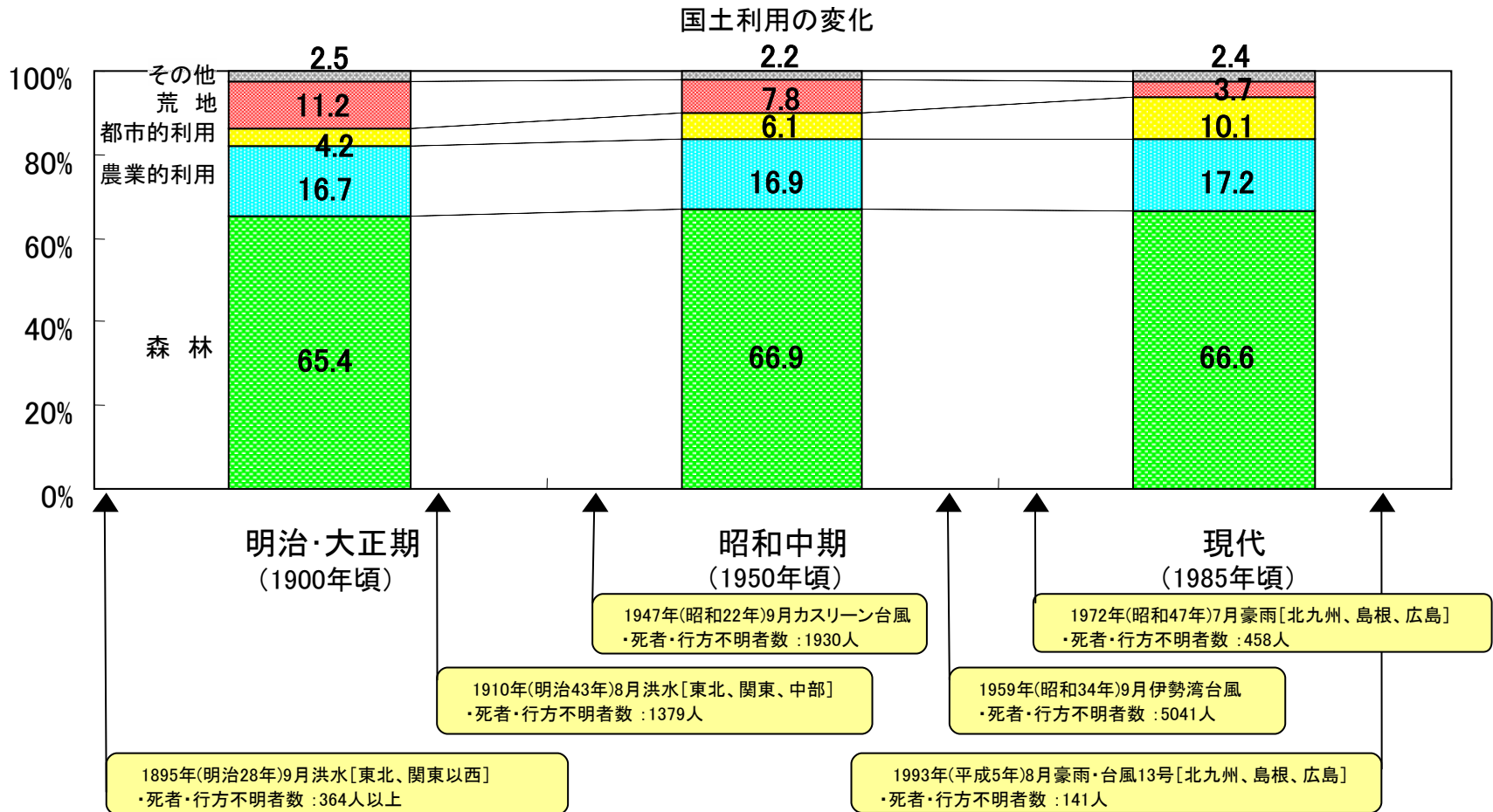


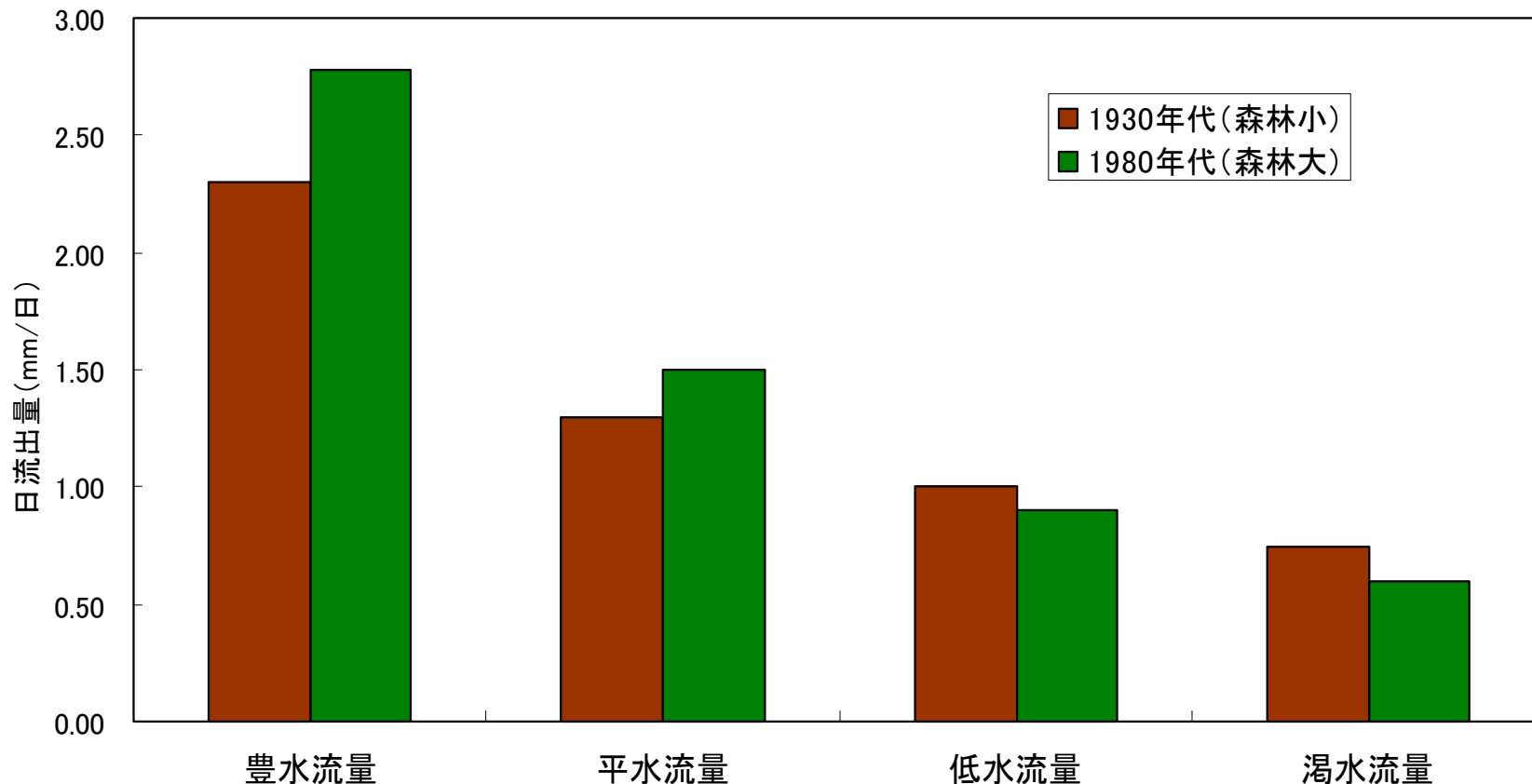
我が国の森林面積は、国土面積の約7割を占め、 過去100年間では大きな変化はない



出典：国土交通省資料(アトラス 日本列島の環境変化より作成)

森林は、主にその土壌の働きにより中小洪水を緩和し、平水時の流量を増加させる傾向にあるが、蒸発散作用により低水や渇水時の流量を減少させる

森林の成長に伴う流出量の変化

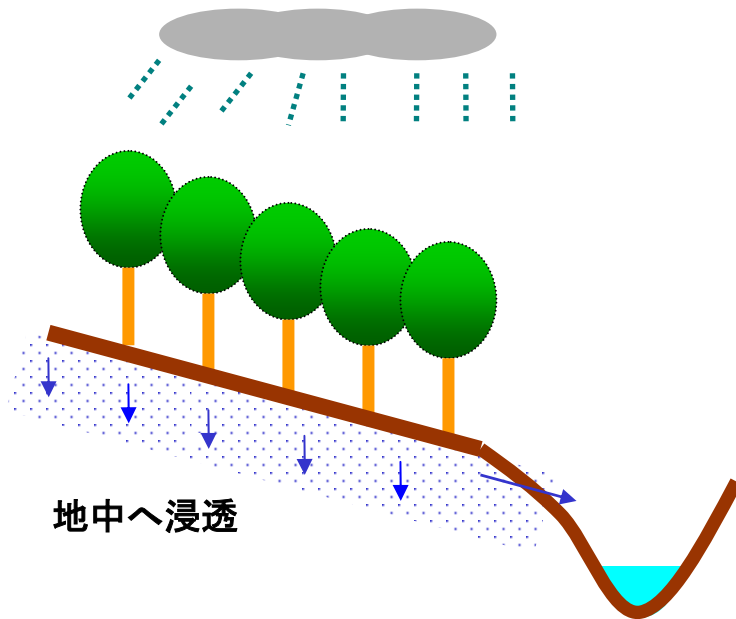


※森林面積は、1930年代から1980年代にかけて増大
※1930年代の年平均降雨量 1790mm/年
※1980年代の年平均降雨量 1860mm/年

資料: 東京大学愛知演習林白坂流域のデータをもとに国土交通省作成

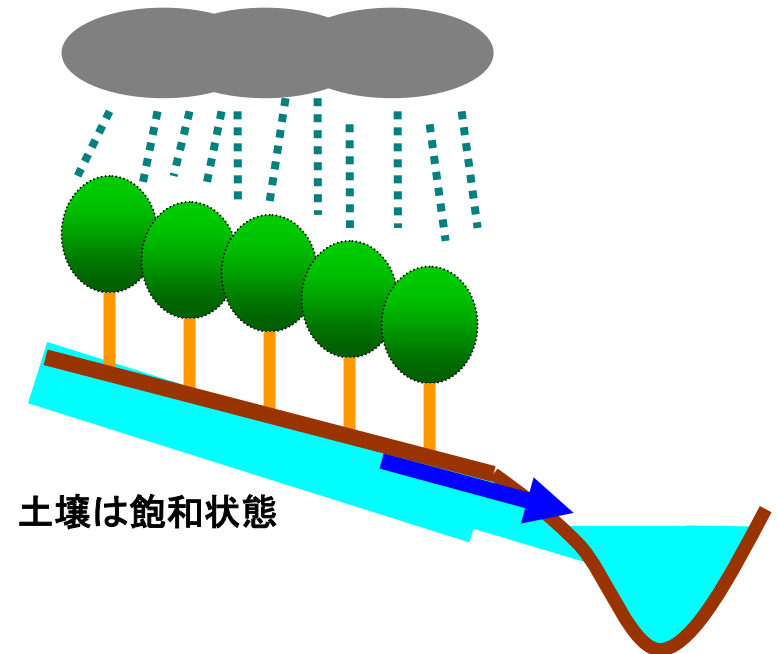
森林では、少雨時には雨は地中に浸透し、
直接流れ出る量は少ないが、大雨では土壌が
飽和状態となり、降った雨はそのまま流出

小雨時



小雨時には、雨は地中に浸透し直接流れ出る量は少ない。

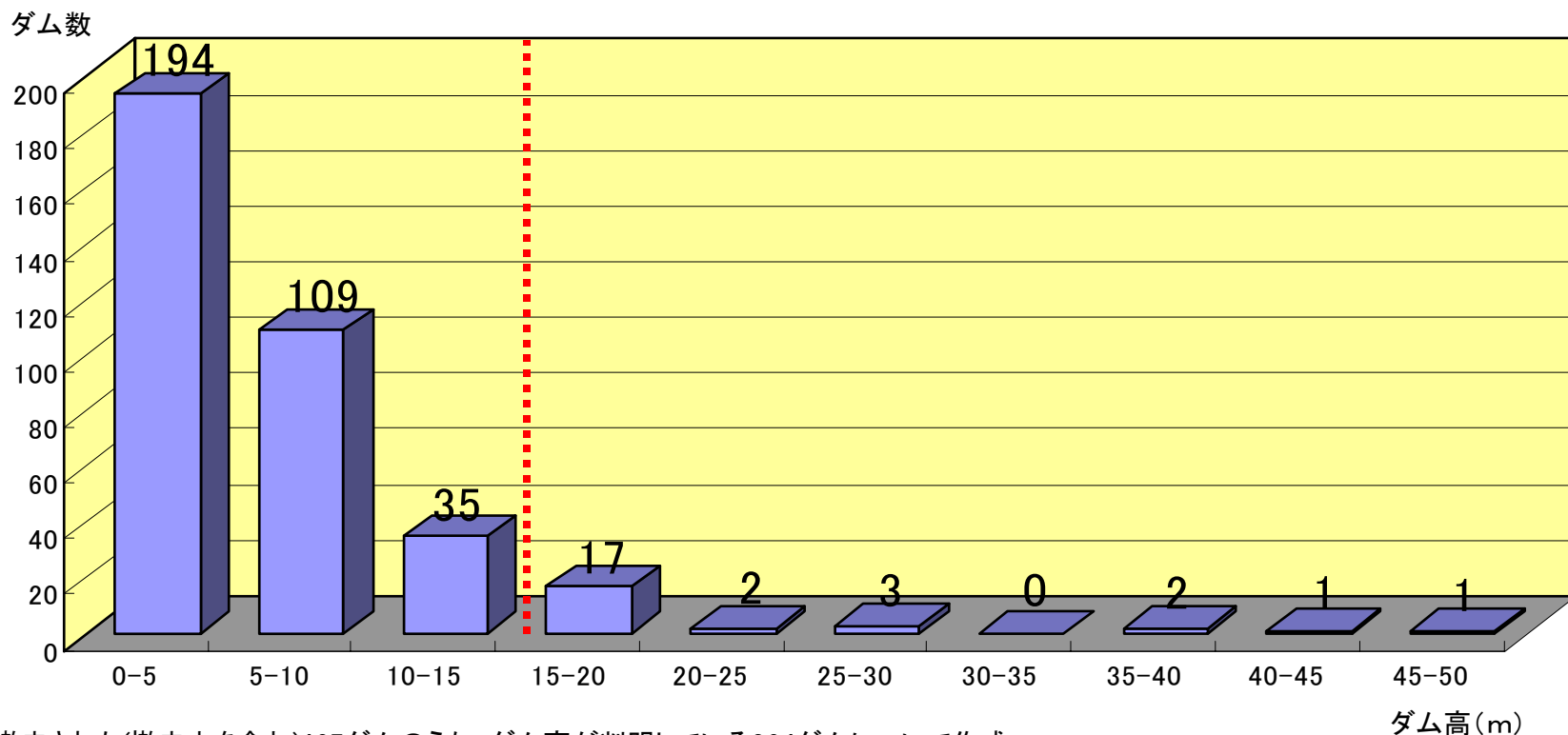
大雨時



大雨では、土壌が飽和状態となり、降った雨はそのまま流れ出す。

米国において撤去された467施設のうち、
高さがわかっているものの9割以上が15m未満。
我が国では、ダムと呼ばず「堰」と呼んでいるもの。

米国における高さ別の堰(ダム)の撤去数



撤去された(撤去中を含む)467ダムのうち、ダム高が判明している364ダムについて作成
うちダム高15m以上のダム数: 26ダム(7%)

資料:アメリカンリバーズホームページより作成

我が国でも、農業用水の取水用の堰などについて、
老朽化、取水位置の統合等の理由で、326施設を撤去
[2001年(平成13年)4月調べ]

日本における高さ別の堰(ダム)の撤去数

